

# 原水協活動 FAX News

発行: 原水爆禁止日本協議会

電話 03 5842 6031 FAX 03 5842 6033

URL <http://www10.plala.or.jp/antiatom/> Eメール [antiatom55@hotmail.com](mailto:antiatom55@hotmail.com) 2007年10月24日 No.6

今日から「国連軍縮週間」が始まりました。日本原水協は、先の「核兵器廃絶10月中央行動」の成功をはじめ、世界大会決議実践として、各地で活発なとりくみがすすめられています。

## エジプト原爆展原水協代表団出発・カイロ大で盛大に開催

日本原水協エジプト訪問代表団25人は、首都カイロでの原爆展やカイロ大学での核兵器廃絶セミナーに参加するため、22日成田を出発。すでにカイロ大学で原爆展を開催し、見物の人々もたくさん集まって盛況ですとの報告も寄せられています。この行動は、「国連軍縮週間」にエジプト政府の後援もえて開催するもの。代表団は、原爆展『核兵器のない世界 - ヒロシマ・ナガサキは語りかける』をはじめ、原爆被害の実相をひろげる集会やセミナーを開催するなど、エジプト政府とNGOとの交流をおこないます。

## 「すみやか」署名の飛躍へ！ 新ポスター製作・注文つきつき

日本原水協は、この10月から来年4月の次回NPT再検討会議準備委員会、G8サミットにむけて「すみやか」署名のあらたな前進をきずくため、署名新ポスターを製作しました。“待っていた！”とばかりに、よびかけ後、各地から注文が寄せられています。すでに長崎県原水協では500部を注文、福島も300、兵庫200、京都200、愛知300などの到達。デザインも一新した署名新ポスター、積極的な注文・普及をお願いします。

## ちひろカレンダー 大量普及を！

10月後半を迎え、「ちひろカレンダー」普及の最適の時期となりました。各地で昨年を上回ろうと積極的な普及活動がすすめられています。すでに、秋田県、福井県、岡山県では、昨年度の普及数を上まわっています。

福井では、昨年を何とか上回ろうと新規開拓や、例年扱いを上回るよびかけをおこない、昨年部数を達成しています。事務局長のつながりで、野菜の自然栽培・露店を扱っているお宅によびかけ、新たに50部を扱ってくれることになりました。小浜の新婦人の方は、昨年25部の扱いでしたが、ちひろの絵に込められた平和の願いを語り、普及と合わせ新婦人会員も増えました。この経験を生かし今年50

部を普及してくれることとなりました。埼玉では、理事長、事務局長が、県内の主な労働組合、民主団体を訪問、見本を持参してお願いにまわりました。これまで「ちひろカレンダー」を扱っていなかった年金者組合では、よびかけに応え初めて扱うことになり、県原水協では大規模労働組合の扱いで大量普及を期待しています。

## 原爆症認定緊急100万署名、非核日本宣言運動に積極的とりくみ 山梨

山梨県原水協は、原爆症認定制度改善をめざしての緊急署名、5000筆を目標に奮闘しています。この達成めざし12日、代表委員と事務局長で山梨商連、市民生協やまなし、高教組を訪問し、要請してきました。山梨県の被爆者団体と原水協の連名の署名用紙を持ち、11月末を目途にお願いしました。自治体では南アルプス市が政府・厚労省への意見書採択をおこなってきています。

「非核日本宣言」運動でも積極的とりくみを推進。「宣言」推進の山梨懇談会も開催、広く賛同を求め、新たに田辺篤・甲府市長をはじめ身延、石川三郷、小菅、鳴沢の4町村長、2村議会議長から賛同が寄せられました。山梨では、首長、議長、議員など自治体関係者とともに、県内の幅広い人々に賛同をよびかけ、多くの方々がこたえてきています。